

## 一般競争入札の事後審査に係るQ&A

### <技術者の配置に関すること>

Q 1 技術者が複数の工事の技術者を兼任することは可能か。

Q 2 同一工事において、技術者が現場代理人を兼務することは可能か。

Q 3 技術者の専任を要しない札幌市発注の工事において、当該工事の技術者が現場代理人を兼務している場合、技術者の専任を要しない他の札幌市水道局発注の工事において、技術者及び現場代理人を兼務することは可能か。

Q 4 開札した結果、複数の工事の落札候補者となったが、技術者が不足しているため、すべての工事に技術者を配置できない場合、何らかのペナルティが課されるのか。

Q 5 ●年4月1日に札幌市水道局発注のX工事に入札したが、落札候補者とならなかった。そこで、●年4月8日に札幌市のY工事に入札したところ、落札候補者となった。配置可能な技術者は1名しかいないため、札幌市発注のY工事に配置することになるが、仮に、X工事の審査順が変更になり落札候補者となった場合、X工事の技術者を確保できないことになる。この場合、どのような手続をする必要があるのか。

Q 6 事後審査において、落札候補者が提出した申請書類に記載の配置予定技術者が、落札結果通知書を受領するまでの間に、真にやむを得ない理由（死亡、傷病、出産、育児、介護または退職等）により配置できなくなった場合、どのような手続をする必要があるのか。

Q 7 配置予定の技術者は、いつの時点で雇用していればよいのか。

Q 8 告示別表の入札参加資格について、技術者の対象工事等に係る従事経験は必ず必要か。

### <事後審査の提出書類等に関すること>

Q 1 保留通知書において審査順1位の者は、いつまでに事後審査に必要な書類を提出する必要があるか。

Q 2 事後審査に必要な提出書類は、どのような書類が必要であるか。また、書類の様式はどこにあるのか。

Q 3 事後審査に必要な提出書類は引き替え及び追加提出が可能か。

### <その他>

Q 1 自社の工事（業務）成績平均点の確認方法について教えてほしい。

Q 2 建設業許可に関する申請手続について、不明な点を教えてほしい。

## 一般競争入札の事後審査に係るQ&A

※ 技術者とは、建設業法(昭和24年法律第100号)第26条及び札幌市水道局建設工事請負契約約款第10条第1項第2号に規定する、監理技術者又は主任技術者をいう。

※ 事後審査とは、札幌市水道局が発注する工事のうち、札幌市水道局工事等一般競争入札施行要綱(平成17年4月6日管理者決裁。以下「一般競争要綱」という。)に基づく一般競争入札において、一般競争要綱第10条に規定する入札参加資格の確認を入札後に行う審査をいう。

### <技術者の配置に関すること>

Q1 技術者が複数の工事の技術者を兼任することは可能か。

A1 技術者の専任を要しない工事については、複数の工事を兼任することが可能です。

なお、「技術者の専任を要する工事」とは、請負代金額が3500万円(建築一式工事にあっては7000万円)以上の工事であり、契約工期(着手日からしゅん功日まで)において、技術者は工事現場ごとに、原則として専任配置が必要となります。

- 建設業法(昭和24年法律第100号)第26条第3項
- 建設業法施行令(昭和31年政令第273号)第27条第1項

Q2 同一工事において、技術者が現場代理人を兼務することは可能か。

A2 兼務は可能です。なお、事後審査において、審査対象となるのは、技術者の雇用関係及び保有資格等であり、現場代理人は審査対象外です。

- 札幌市水道局建設工事請負契約約款第10条第5項

Q3 技術者の専任を要しない札幌市発注の工事において、当該工事の技術者が現場代理人を兼務している場合、技術者の専任を要しない他の札幌市水道局発注の工事において、技術者及び現場代理人を兼務することは可能か。

A3 一定の条件を満たす場合については、兼務可能です。詳細については「現場代理人の兼任に関する取扱いについて」をご確認の上、受注した工事の監督員に兼任届を提出してください。

(札幌市水道局発注の他の工事において、技術者のみを兼任したい場合にも監督員にご確認ください。)

- 札幌市水道局建設工事請負契約約款第10条第5項
- 建設業法(昭和24年法律第100号)第26条第3項
- 建設業法施行令(昭和31年政令第273号)第27条第1項
- 現場代理人の兼任に関する取扱いについて(平成26年3月17日 管理者決裁)

Q4 開札した結果、複数の工事の落札候補者となったが、技術者が不足しているため、すべての工事に技術者を配置できない場合、何らかのペナルティが課されるのか。

A4 正当な理由なく落札者となることを辞退した場合は、札幌市水道局競争入札参加停止等措置要領に定める措置基準に該当し、参加停止となる可能性があります。また、技術者を適正に配置できない状況で、複数の入札を行うことは厳に慎んでください。

- 札幌市水道局競争入札参加停止等措置要領(平成14年5月8日管理者決裁)別表第1-

Q 5 ●年4月1日に札幌市水道局発注のX工事<sup>\*1</sup>に入札したが、落札候補者とならなかった。そこで、●年4月8日に札幌市発注のY工事<sup>\*1</sup>に入札したところ、落札候補者となった。配置可能な技術者は1名しかいないため、札幌市発注のY工事に配置することになるが、仮に、X工事の審査順が変更になり落札候補者となった場合、X工事の技術者を確保できないことになる。この場合、どのような手続をする必要があるのか。

A 5 X工事の落札候補者になることができない理由を明記した申出書を直ちに提出してください。申出書に基づきX工事の入札を無効とします。なお、設問のように、開札時点で落札候補者とならなかった者が開札後に他の札幌市発注工事の落札候補者となったことにより技術者を配置することができなくなった場合は、正当な理由があるものとして、参加停止の対象となりません。

※1 技術者の専任を要する工事

- 配置予定技術者の取扱いに関するガイドライン（平成17年4月6日総務部長決裁）  
5-1)

Q 6 事後審査において、落札候補者が提出した申請書類に記載の配置予定技術者が、落札結果通知書を受領するまでの間に、真にやむを得ない理由（死亡、傷病、出産、育児、介護または退職等）により配置できなくなった場合、どのような手続をする必要があるのか。

A 6 落札候補者になることができない理由を明記した申出書を直ちに提出してください。なお、申出書に記載された理由によって、参加停止の対象となるか判断されるため、理由については詳細に記載してください。

- 配置予定技術者の取扱いに関するガイドライン（平成17年4月6日総務部長決裁）  
5-3)

Q 7 配置予定の技術者は、いつの時点で雇用していればよいのか。

A 7 事後審査の審査基準日<sup>\*2</sup>において、工事については、3か月以上の直接的及び恒常的な雇用関係があることが必要です。業務（設計等）については、直接的及び恒常的な雇用関係があることが必要です。

※2 審査基準日とは、告示別表で定める「入札期間」の最終日のこと

- 配置予定技術者の取扱いに関するガイドライン（平成17年4月6日総務部長決裁）  
1-(5)-イ及び2

Q 8 告示別表の入札参加資格について、技術者の対象工事等に係る従事経験は必ず必要か。

A 8 告示別表の入札参加資格に定める「主任（監理）技術者」欄に、「▲▲工事の施工経験がある者を配置すること。」又は「△△設計の履行経験がある者を配置すること。」等の記載があれば、必要です。

## <事後審査の提出書類等に関すること>

Q 1 保留通知書において審査順1位の者は、いつまでに事後審査に必要な書類を提出する必要があるか。

A 1 告示している案件ごとに告示別表で定めております。告示別表の「申請書等提出期限(日)」欄をご確認ください。原則、開札日の翌日<sup>※3</sup>を期限としております。

※3 開札日の翌日が土曜日、日曜日及び休日の場合は翌開庁日

Q 2 事後審査に必要な提出書類は、どのような書類が必要であるか。また、書類の様式はどこにあるのか。

A 2 事後審査に必要な提出書類は案件により異なるため、入札説明書及び告示別表で定める「注意事項」欄をご確認ください。

### ◆ 一般案件について

一般案件<sup>※4</sup>の様式等は、下記の「札幌市水道局入札情報サービス」のリンク先からダウンロードしてご使用ください。 ※4 価格競争のみで落札者を決定する入札方式

札幌市水道局入札情報サービス>工事・設計等・道路維持除雪>共通ファイルダウンロード>制限付一般競争入札(事後)申請関係

札幌市水道局入札情報サービス

<http://www.city.sapporo.jp/suido/jigyosya/bid/e-bid/index.html>

### ◆ 総合評価落札方式の適用案件について

総合評価落札方式を適用した案件の様式等は、下記の「札幌市水道局入札情報サービス」のリンク先から入札を希望される案件情報を検索の上、対象案件を表示し、ページ下部の「説明文書等」欄に掲載されている申請書類一式をダウンロードしてご使用ください。

札幌市水道局入札情報サービス>工事・設計等・道路維持除雪>入札等案件情報

札幌市水道局入札情報サービス

<http://www.city.sapporo.jp/suido/jigyosya/bid/e-bid/index.html>

Q 3 事後審査に必要な提出書類は引き替え及び追加提出が可能か。

A 3 落札候補者から一度提出された事後審査に係る申請書類の書き換え、引き替え及び撤回は、原則認めておりません。ただし、入札参加資格を審査した結果、挙証書類に不足がある場合は、追加提出をお願いすることがあります。

## <その他>

Q 1 自社の工事(業務)成績平均点の確認方法について教えてほしい。

A 1 下記の「入札参加資格申請システム」でご確認ください。

入札参加申請システム

[http://www.city.sapporo.jp/zaisei/keiyaku-kanri/chosei/toroku/1\\_system.html](http://www.city.sapporo.jp/zaisei/keiyaku-kanri/chosei/toroku/1_system.html)

Q 2 建設業許可に関する申請手続について、不明な点を教えてほしい。

A 2 建設業許可の申請等の手続については、下記のリンク先をご覧の上、許可を受けようとする行政庁に直接お問い合わせください。

[http://www.mlit.go.jp/totikensangyo/const/1\\_6\\_bt\\_000088.html](http://www.mlit.go.jp/totikensangyo/const/1_6_bt_000088.html)

お問い合わせ先： 札幌市水道局総務部総務課契約係

電話 011-211-7011